

第1 計画の趣旨等

- (1) 計画策定の趣旨……社会経済情勢や県民の文化活動の状況等の変化を踏まえ、県が重点的に実施すべき文化振興施策を示すため、新しい文化振興計画を策定する。
- (2) 計画の位置付け……富山県民文化条例第8条第1項に基づく文化振興に関する基本計画
- (3) 計画の期間……平成18年度から平成27年度までの10年間

第2 文化活動の現状と課題

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 県民の文化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民の文化の鑑賞や創作活動等は、活発である。 ・子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図ることが重点施策として求められている。 ・芸術各分野の活動は活発だが、高齢化により愛好者の減少が懸念される。 ・県芸文協は全国的にトップレベルの活動を展開 | <p>(5) 世界への文化の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利賀は、発信拠点として一層の充実が必要 ・県芸文協は、海外文化団体と活発に交流 |
| <p>(2) 文化施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化施設のハード面の整備は全国トップレベル ・今後は、ソフト面を充実し、地域の文化活動の拠点機能の向上が課題 ・美術館等では、来館者の増加策などが課題 | <p>(6) 伝統文化の掘り起こし、活用と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おわら風の盆などの伝統芸能、世界遺産五箇山合掌集落等の文化資源を活かした発信が課題 |
| <p>(3) 高齢者、障害者の文化への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化施設に足を運びにくい人たちへの芸術鑑賞、体験機会の拡充、ボランティアの拡充が必要 | <p>(7) 情報通信技術を活用した新しい文化の創造と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信基盤の整備は全国有数 ・提供する映像情報等の充実が課題 |
| <p>(4) 次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間等も活用し、学校での文化体験の取り組み充実が課題 | <p>(8) 文化と産業の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある地域文化の観光資源としての活用が課題 ・「とやまの食」のブランドイメージの確立が課題 ・売薬や銅器に由来する最先端のものづくり文化が発展 |
| | <p>(9) 文化を活かした地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立山信仰や高岡の万葉等、地域には、特色ある伝統、歴史、文化を活かした活動が多いが、十分知られていない。 |

第3 基本目標と施策の方向性

富山から世界に、人と文化の輝く「元気とやま」の創造

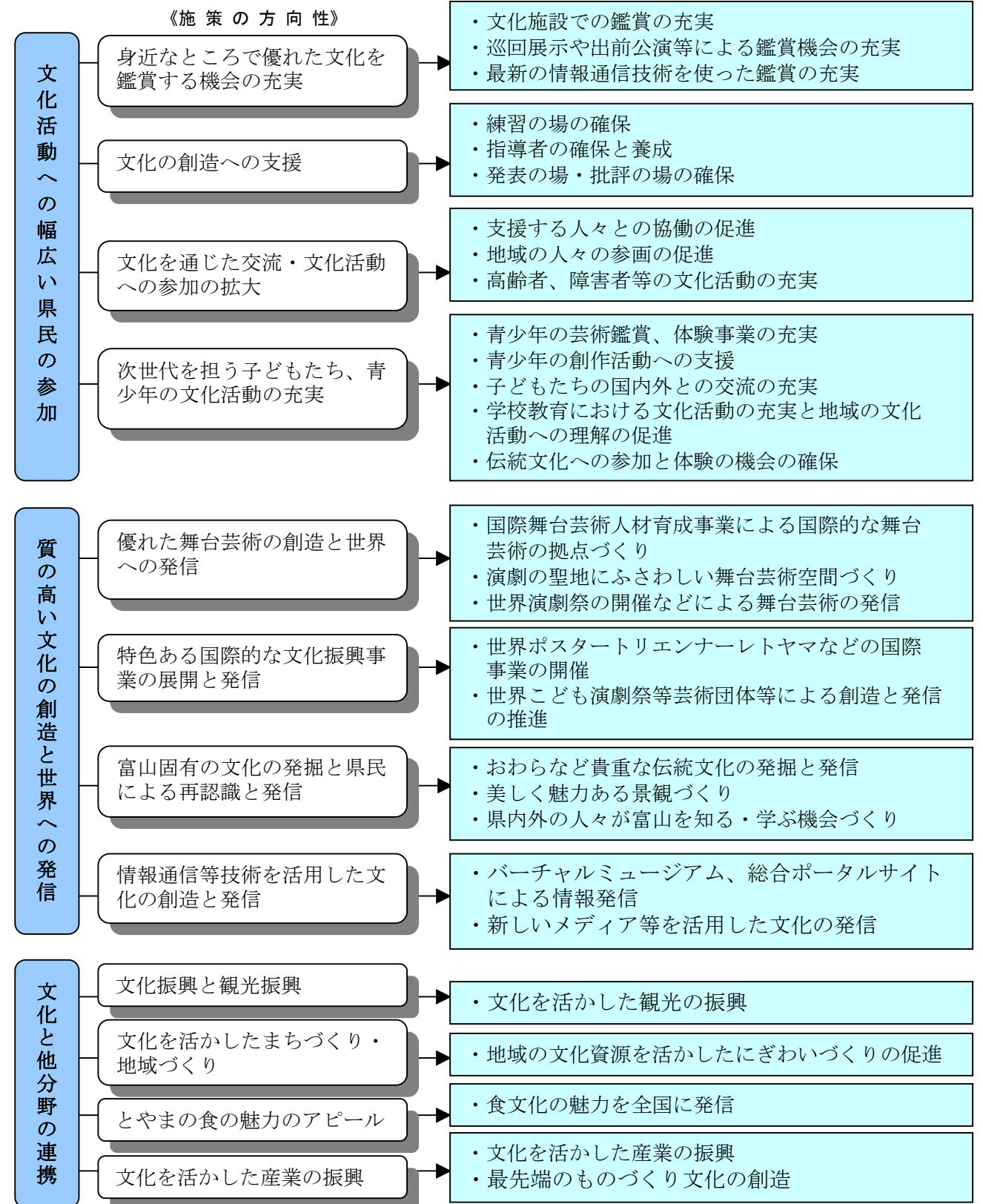
基本目標

- ・県民が幅広く文化の鑑賞や新しい文化の創造を楽しみ、文化を通じた交流や文化活動に参加することを拡大していく。特に、次世代を担う子どもたちが、文化に親しむことを促進する。
- ・質の高い文化を創造し、世界に発信する。これにより、富山県の文化のレベルアップを図るとともに、県民の誇りとなる文化面での「とやまブランド」を確立する。
- ・にぎわいづくり、産業振興、観光との連携など、社会の各分野で文化と連携し、総合的な文化振興に関する施策を展開する。

文化の担い手と県の役割

- ・文化の担い手は県民。
- ・県の役割は、県民が文化を鑑賞、創造、交流するための機会を確保し、文化活動に参加する団体やボランティアなど様々な主体により、文化活動が活発に行われ、質の高い文化の創造・発信が行われるよう支援するとともに、他分野との連携を図るコーディネーターとして条件整備や環境づくりに努めること。
- ・文化行政の推進体制のあり方について検討が必要。

第4 施策体系



第5 主な重点施策

- ・文化施設での鑑賞の充実
- ・巡回展示や出前公演等による鑑賞機会の充実
- ・最新の情報通信技術を使った鑑賞の充実
- ・練習の場の確保
- ・指導者の確保と養成
- ・発表の場・批評の場の確保
- ・支援する人々との協働の促進
- ・地域の人々の参画の促進
- ・高齢者、障害者等の文化活動の充実
- ・青少年の芸術鑑賞、体験事業の充実
- ・青少年の創作活動への支援
- ・子どもたちの国内外との交流の充実
- ・学校教育における文化活動の充実と地域の文化活動への理解の促進
- ・伝統文化への参加と体験の機会の確保
- ・国際舞台芸術人材育成事業による国際的な舞台芸術の拠点づくり
- ・演劇の聖地にふさわしい舞台芸術空間づくり
- ・世界演劇祭の開催などによる舞台芸術の発信
- ・世界ポスタートリエンナーレトヤマなどの国際事業の開催
- ・世界子ども演劇祭等芸術団体等による創造と発信の推進
- ・おわらなど貴重な伝統文化の発掘と発信
- ・美しく魅力ある景観づくり
- ・県内外の人々が富山を知る・学ぶ機会づくり
- ・バーチャルミュージアム、総合ポータルサイトによる情報発信
- ・新しいメディア等を活用した文化の発信
- ・文化を活かした観光の振興
- ・地域文化資源を活かしたにぎわいづくりの促進
- ・食文化の魅力を全国に発信
- ・文化を活かした産業の振興
- ・最先端のものづくり文化の創造

第6 文化振興のための体制づくり

- (1) 多様な主体による連携・協働の仕組みづくり
- (2) 多様な意見を反映する仕組みづくり
- (3) 国や市町村等との連携体制の確立